

# 新型コロナウイルス感染症 対策検討協議会説明資料

(検証事項説明資料)

(頁)

◎感染拡大予防物資の各施設への効果的な配分方法について …………… 1

令和2年（2020年）8月19日

市 民 部

福 祉 部

健 康 部

こども育成部

こども家庭支援センター

## ◎検証項目 感染拡大予防物資の各施設への効果的な配分方法について

### 1 検証の目的

民間企業からの寄贈や国・県からの配布により市に届けられたマスク等感染拡大予防物資の配分方法について、より効果的、効率的な配分方法のあり方を模索します。

また、それらの物資を各施設、事業所に引き渡す方法についても、最も効率的な方法を検討することを目的とします。

### 2 項目別検証結果その1 効果的・効率的な物資の配分方法

#### (1) 不足数（ニーズ）の把握について

##### ①市の当初の想定と実際

当初、各事業所においてマスクなどの消耗品類は均一な量で使用されていくものと考え、ある時点で照会すれば各事業所の在庫のひっ迫さが把握でき、ひっ迫している事業所から順に配布することが効果的で効率的と想定していました。

しかし実際は、マスクを例にすると、事業所はふんだんに保有している場合と保有量が少なくなった場合とで、マスクを交換する頻度を変えることで、在庫切れを防ぐという対応がされていて、現在の保有量でどの程度もつのか、不足数はいくつなのかということを示すのは難しいことでした。

##### ②事業所からの声

- ・納期と納品量が示されなければ「不足量」は判断できない
- ・コロナに限らず、インフルエンザやノロなどの感染症が発生しても、施設内での衛生材料の使用量は大きく変化する。ある時点での在庫量調査の結果は、あくまでもその時点のものと捉えるべき
- ・通常の在庫量は、事業所の規模の大小に基本的に比例する。小規模事業所は使用量の調整にも限界があるので、配布にあたっては事業所の規模も勘案してほしい
- ・必要量の照会をし、その結果を集計して配布計画を立てるという手順を踏んでいる間に、時間は経過していく。迅速に配布することを念頭にしてほしい
- ・提供するサービス分野ごとに「業界団体」を組織している。この団体内で物資の過不足は融通し合うという対応も行うので、配布計画作成のために労力と時間を割かないでほしい

## (2) 不足数（ニーズ）の把握方法について

### ①市の当初の想定と実際

従前から、国や県からの事務連絡の伝達等にはメールを使用しているため、物資不足に関する照会や連絡もメールで行うことで支障はないと認識していました。

しかし実際は、コロナ禍で国や県、市から日々多くのメールが送信されていて、物資不足に関する本市からのメールが埋もれてしまい、気づかれない状況でした。

### ②事業所からの声

- ・メールは日々大量に着信し重要なものでも見落とす可能性があるため、緊急・重要な案件はファクスも併用してほしい
- ・照会等の際には、多くの事業所に専任の事務員はいないことを踏まえてほしい
- ・照会にあたっては、回答内容がどのように扱われるのか明示してほしい

## (3) 考察・検証・今後の対応

上記(1)のとおり、各事業所のニーズを正確に的確に把握することは、非常に困難です。国等から大量に供給された物資の配布計画を考える場合には、公平性を過度に意識するのではなく、迅速性に重きを置いたものとすべきです。

具体的には、精緻なニーズを把握するよりも、利用定員割や従事者数割など一定の基準によって配布計画とすることとします。

また、物資の在庫切れが間近となった事業所に対しては、個別に対応することとします。

なお、国や県からの要請として、各事業所の在庫数や必要数を調査して報告するよう求められた場合には、これに応じるものとします。

メールのほかファクスを併用することについては、一件ごとにダイヤルしながら送信していくファクスの特性上、宛先件数が多くなればなるほどリアルタイムでの送信が難しくなるという課題があります。

今後、物資の配布に関する照会については、照会の意図を明記して行うとともに、重要・緊急な照会やお知らせについては、重要・緊急であることが分かるようメールの件名を工夫したうえで、宛先件数の多寡によりファクスを併用するかどうかを判断していくこととします。

### 3 項目別検証結果その2 効率的な物資の引き渡し方法

#### (1) 市での実際の引き渡し方法

数百枚程度のマスクなど配布するものが少量な場合には、基本的には郵送で各事業所に配布しています。郵便事情さえ通常であれば、効率的な配布方法と考えます。

複数の種類の物資を段ボール箱に梱包しなおしたり、配布物が複数の段ボール箱となるような場合には、基本的には市職員が各事業所を訪問して配布しています。宅配便での配布に耐えられる梱包とする手間を省き、また日中不在となる事業所であっても事前に調整した置き場に置いてくるという対応が可能というメリットがあります。一方で、公用車の積載量の関係から、配布完了まで相応の日数を要する場合があります。

以上が基本的な配布方法ですが、「業界団体」事務局に物資を届け、各事業所への配布を依頼する場合や、事業所が市役所に赴き受領していくこともあります。

#### (2) 事業者からの声

- ・在庫がひっ迫している場合には、事業所が市役所に受領しに行くのが最も効率的
- ・業務時間中に無人となる事業所もあることを念頭にしてほしい
- ・訪問配布はありがたいが、感染防止の観点から少人数で来訪してほしい

#### (3) 考察・検証・今後の対応

現状の配布方法で、臨機応変に対応できていると考えますが、今後、国や県からの物資の配分量がさらに増えてきた場合には、より効率的な方法を検討していく必要があります。

これからも、事業所の在庫のひっ迫さ、配布すべき物資の量や内容、そして感染防護の観点も踏まえ、どのような引き渡し方法が迅速・効率・安全なのかを見極めながら対応していきます。